

しんち

議会だより

2019・4・20
No. 161

ようこそ駒小へ!

〈3月定例会〉

- 定例議会の概要 …… 2～8
- 町政を問う …… 9～14
- 常任委員会レポート …… 15
- ようこそ新地町へ …… 16

3月定例会

3月定例会のあらまし

平成31年3月定例会は、3月5日から20日までの16日間の会期で開催され、町長から提案された人事案件や条例の改正、一般会計・特別会計補正予算、

当初予算など34議案を審査し、原案どおり可決した。また、18、19日には5名の議員が一般質問を行った。

予算審査特別委員会を設置

議会では、予算の重要性に鑑み、慎重に審議を行うため、予算審査特別委員会を設置した。

委員長に八巻孝産業厚生常任委員長、副委員長には八巻秀行総務文教常任副委員長を選出し、予算審査を行った。

これまで継続してきた事業に枝葉をつけ機能性を十分に発揮できる復興の総仕上げに、全力で取り組むとしている。

また、全国的な少子高齢化の進行に対して、一刻も早い手立てを講じなければならぬことから、高齢者世帯の見回りと、配食サービスの上昇、そして、これからの世代のためのまちづくりとして、保育料や学校給食に対する支援策に努め、安心して暮らせるまちづくりを築き上げていくとしている。

さらに、町民生活向上の要となる教育、福祉、生活環境整備などの施策についても停滞することなく、町民との対話を大切に「暮らし

前年度比65億円減(△48.1%)

子育て支援重視

特別会計含め
94億6720万円
前年度比 40.6%減

平成31年度一般会計当初予算は70億円で前年度比65億円減(△48.1%)となっている。

町長の施政方針で、復興・復興事業の最優先課題であった住宅再建の防災集団移転や、災害公営住宅などの事業が完了したが、復興創生期間が残り2年となる中で、新地駅前周辺整備事業や、防災緑地公園など、

ている人にも訪れる人にも、魅力あるまち」と感じられる町づくりを目指し、積極的に取り組むとしている。

議会では、予算審査特別委員会で各課より詳細な説明を受けて徹底した議論を

重ね、慎重に審査した。

その結果、平成31年度一般会計予算及び国民健康保険特別会計予算など6つの特別会計予算を原案のとおり可決すべきと決定した。

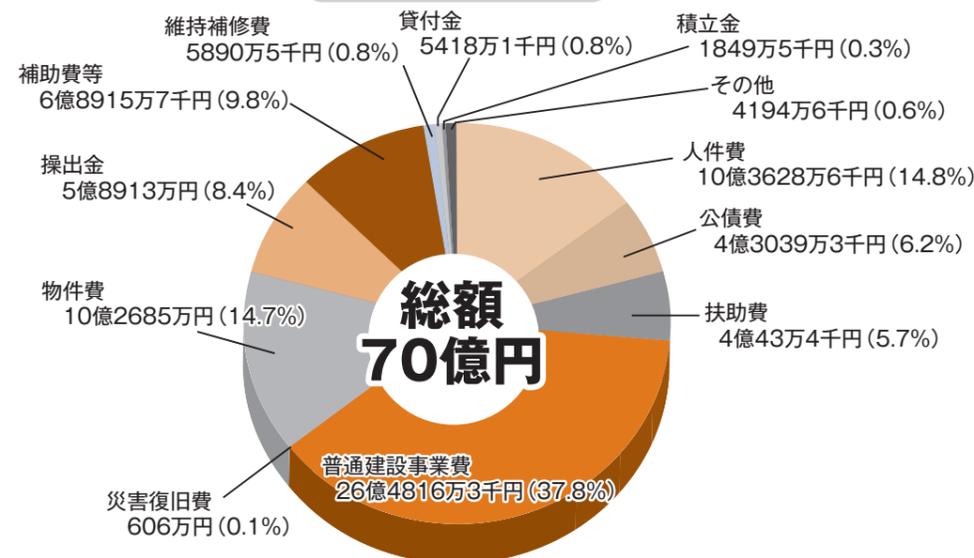
平成31年度一般会計当初予算70億円

復興、地域の安心安全、

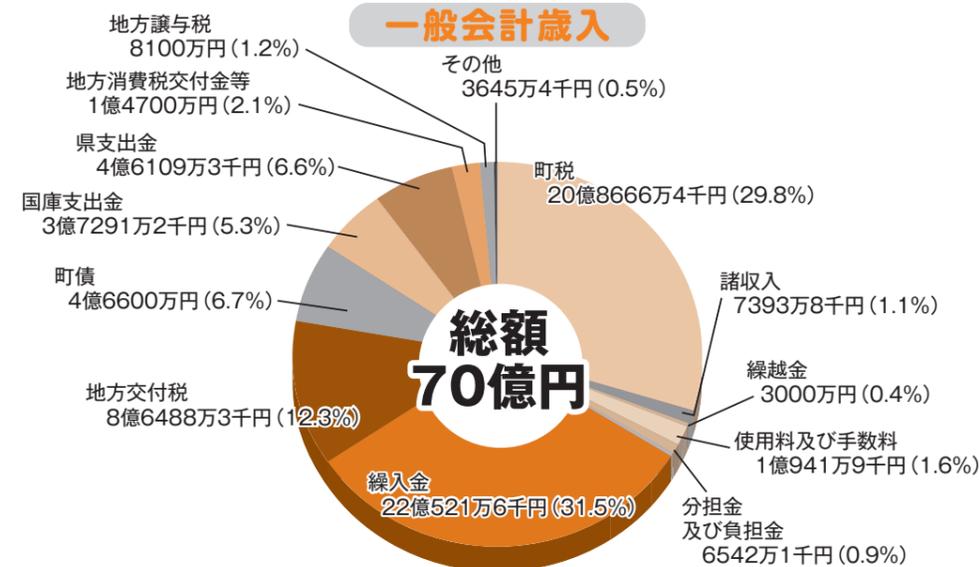


▲3月24日フットサル場落成

一般会計歳出



一般会計歳入



議会の意見

迅速・適正な執行を

平成31年度予算は、将来の展望と方向性を示す「新地町第5次総合計画後期基

本計画」及び国の「復興・創生期間」4年目の予算となるが、復興事業等の減少により、一般会計予算は70億円対前年度比65億円の減となっている。更に、12件で8億3585万円の事業が繰り越され執行すべき予算総額は、78億3585万円と

なっている。これまで復旧、復興を最優先に掲げて対応してきたところであるが、職員の健康管理に配慮すると共に、学校を含め各施設の適正な管理運営と各種新規事業に取り組み、将来の町づくりの創造と迅速かつ適正な執行、行財政の円滑な運営を図りたい。

平成31年度一般会計予算
○歳入
・新たな事業や制度の情報収集に努め、更なる財源の確保を図りたい。
○歳出
・新地駅前整備事業や防災緑地整備事業は、町の将来を決める大事業でありスピード感ある事業執行に努められたい。

・町民のニーズに寄り添った公共交通の充実に取り組まれたい。
・基幹産業の農・漁業振興を基本に、将来を見据えた取り組みをされたい。

平成31年度国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算
・予防医療、介護予防の充実に努め、町民の負担軽減を図られたい。

平成31年度公共下水道事業特別会計予算及び農業集落排水事業特別会計予算
・接続率の向上を図るとともに、既存施設の長寿命化につながる維持管理体制に努められたい。

平成31年度新地南工業団地整備事業特別会計予算
・積極的な企業誘致と早期の雇用の確保に努められたい。



▲予算審査特別委員会

会計別当初予算額

(単位：千円)				
会計別	平成31年度	平成30年度	比較	
一般会計	7,000,000	13,500,000	△6,500,000	
特別会計	国民健康保険	988,613	1,010,000	△21,387
	介護保険	954,374	927,169	27,205
	後期高齢者医療	172,488	167,653	4,835
	公共下水道事業	250,574	239,500	11,074
	農業集落排水事業	57,801	53,900	3,901
	新地南工業団地整備	43,356	54,540	△11,184
	合計	9,467,206	15,952,762	△6,485,556

予算審査
こんな質問が



Q 防災行政無線デジタル化事業費2億円の理由は。
A 現在のアナログ回線は平成34年度までしか使えないため、平成31、32年度にかけ整備する。
Q 防犯灯設置工事費388万円の内訳は。
A 新地駅前5か所、駒ヶ嶺駅前3か所などである。
Q ふるさと寄付金の返納は何を考えているのか。
A これまでの町の加工品の詰め合わせセットのほか、新地のコメを送っている。

Q 釣師防災緑地の委託料の620万円の用途は。
A 公園内の管理事務及び清掃、パトロールなどを含まれている。
Q 運転免許証自主返納奨励費49万円の内容は。
A 運転免許証自主返納した高齢者にしんちゃんGOのチケットを贈呈するもので、平成30年度から実施しており33名分を予定した。
Q 新たな保育料軽減策とは。
A 町長の公約である子育て世帯の保育料軽減を図るため298人に助成金536万円を支給する。
Q 高齢者の見守り活動をするために、地域見守りサポーターの養成研修を行うという事だが、高齢者の見守り活動をするためには何人のサポーターが必要か。
A 最低でも1地区に1人以上は必要という事で、30人以上は必要である。
Q 地域見守りサポーター事業は、養成研修のみでなく、できれば担当制を取り入れてPRをして取り組まれたい。



▲新入所を歓迎するお兄さん、お姉さん

Q PRを検討したい。
A PRを検討したい。
Q 老人憩いの家はいつまで運営するのか。
A 9月までを考えている。
Q 高齢者見守り配食サービス事業は地区ボランティアを期待しているが具体的にどのような方々を想定しているか。
A 行政区長等と協議して進める。
Q ふくしま森林再生事業は、分収造林、保安林は除かれるが町内の公平な事業導入をされたい。また、松くい虫防除事業の防除員は以前は各地区に防除員が委嘱されていたが今いるのか。
A 行政区長等と協議して進める。
Q 虫防除事業は県が監視員を委嘱しており町では置いていない。
Q 農業の後継者不足が問題となっているが、定年後の60代の方でも十分後継者となるのではないか。
A そういった方向性も検討していく。
Q 文化交流センター及びフットサル場の維持管理をどう考えているのか。
A 生涯学習係で担当する。当面は直営で行うこととし、文化交流センターと

フットサル場を一体的に管理していく。文化交流センターは日中2名体制、夜間は1名、フットサル場は日中、夜間ともに1名体制で考えている。
Q 温泉スタンドの設置に多額の予算を投じている。PRをしてリピーターを増やすべきでないか。
A 多くの方に利用してもらうようPRしたい。
Q 奨学資金の貸し付け状況は。
A 大学生と短大生で40名となっている。
Q 新地に戻り、ある一定期間以上定住した場合等、条件付きの給付型奨学金制度は考えているのか。
A 検討しているところである。
Q ビーチバレーコート整備工事と備品購入が予定されているが、「遊海しんち(仮称)」の大会の為に、整備するのか。
A 今のところ「遊海しんち」だけであるが、他の活用も検討中である。

議案

条例

空家等の適正管理に関する条例

総合的・計画的な空家等の対策を推進するため、新たに条例を制定するもの
(全員賛成で可決)

課設置条例の一部を改正する条例

施策遂行における組織再編を実施するため、復興推

進課を廃止し、建設課に付置する復興推進室などとするもの
(全員賛成で可決)

町議会委員会条例の一部を改正する条例

組織の再編による町課設置条例の一部改正にともない、議会の所管する復興推進課の事務を産業厚生常任委員会の所管する建設課に所管替えをするもの
(全員賛成で可決)

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

県人事委員会勧告により、県が通勤手当の改正を行うことにもない通勤区分や金額などの改正を行うもの
(全員賛成で可決)



▲4月19日太公望が待ち望む海釣り公園再開

指定管理

公の施設の指定管理者の指定

海釣り公園の再開に伴い、施設の適正な維持管理・運営を行う指定管理者として町観光協会を指定するもの
(全員賛成で可決)

町道

町道路線の認定

「作田ランプ線延長145.5メートル」、「大戸浜東線延長520メートル」を新たに町道路線に認定するもの
(全員賛成で可決)

渡部啓子さん



渡部 啓子さん
(新町・再任)

現在同委員である渡部啓子氏の任期が平成31年6月30日で満了となることから、引き続き推薦され、全員適任と認めた。任期は3年間。

渡辺アイ子さん



渡辺アイ子さん
(小川・再任)

現在同委員である渡辺アイ子氏の任期が、平成31年3月31日で満了することから、引き続き選任され、全員賛成で同意した。任期は3年間。

東日本大震災等による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

原子力災害対策措置法による避難等をした世帯に係る国民健康保険税及び介護保険料の減免期間を、平成31年度分まで延長を行うもの
(全員賛成で可決)

都市公園条例の一部を改正する条例

工事を進めている釣師防災緑地を都市公園の施設として、有料公園施設に係る設置や使用料金の規定、並びに指定管理者による管理の規定などの改正を行うもの
(全員賛成で可決)

契約

新地・福田小学校空調設備設置工事請負契約

新地・福田小学校生徒の各教室にエアコンを設置するにあたり、指名競

町道路線の変更

町道「谷地前安波線の路線延長を748.9メートルから589.4メートルに、町道「宮田浜南線の路線延長を470.4メートルから400.5メートルに、町道「浜北大坂下線の路線延長を812.3メートルから817.2メートルに、町道「今泉浜畑線の路線延長を354.7メートルから287.4メートルに変更するもの
(全員賛成で可決)

町道路線の廃止

町道「師山線・路線延長700メートル」、町道「釣師浜漁港線・路線延長107.8メートル」、町道「大戸浜湛水防除線・路線延長65.9メートル」、町道「八幡前線・路線延長91.6メートル」を廃止するもの
(全員賛成で可決)

その他

財産の無償譲渡

駒ヶ嶺字今神西(X区画)地内に建設している軽量鉄



▲エアコン設置を待つ子どもたち

争入札の結果、株式会社ユアテック相双営業所が、6696万円で落札したので請負契約締結するもの
(全員賛成で可決)

文化交流センター周辺敷地工事請負契約

文化交流センター周辺敷地内を整備するため、指名競争入札の結果、佐藤工業株式会社 相双支店が、7614万円で落札したので、請負契約を締結するもの
(全員賛成で可決)

訴えの提起

小川字原添8番2の土地及び家屋を取得し小規模地区改良事業を行うため、共有物分割請求の訴えを提起するもの
(全員賛成で可決)

主な質疑

問 文化交流センターが火災に遭い現在調査中であるが、今後のスケジュールはどうなるのか。

回答 現在は文化交流センター内の焼損した床の撤去は終わり、今は壁関係の撤去を行っている状況だ。工期については、町と設計業者と施工業者とそれぞれ協議中である。

陳情・要望等(3月定例会)

議会では、地域住民より直接の声となる、請願、陳情、意見等を受付けています。今定例会では、下記の陳情を受付けました。

件名	提出者	審査結果
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情	日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子	議員に印刷して配布
奥山等のスギ・ヒノキ放置人口林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情	一般財団法人日本熊森協会 会長 室谷 悠子	

釣師防災緑地整備工事(その7) 請負変更契約
堆積物の撤去処分などの設計内容を変更し請負金額134万6760円を減額するもの
(全員賛成で可決)

階段設置工事請負変更契約

盛土材を購入土から敷地内の流用土に設計の変更を行うなど請負金額221万6160円を減額するもの
(全員賛成で可決)

がんご屋応急仮設住宅撤去工事請負変更契約

敷地内電力柱の外灯及びテレビケーブル線などの撤去処分など請負金額30万2400円を増額するもの
(全員賛成で可決)

補正予算

平成30年度一般会計

132億6461万円

一般会計は、平成30年度の整理予算となり、歳入歳出それぞれ21億5400万円を減額し、歳入歳出それぞれ132億6461万4千円となった。

主な歳入補正

町税8091万3千円、特別交付税などで1億5275万7千円、災害廃棄物処理など国庫支出金3449

万1千円が増額し、災害救助費や農業施設関連災害復旧事業などの県支出金で6億2543万5千円、震災に係る復興基金や保留地処分基金からの繰入金で16億

1916万1千円、施設整備に係る町債で1億7180万円を減額。

主な歳出補正

総務費で6513万2千円を減額。主なものとしては、スポーツ施設、エネルギーセンター関連の工事費となっている。

衛生費では、災害廃棄物代行処理事業負担金で7091万1千円、相馬方部衛生組合病院費9600万円が増額。

商工費では海釣り公園整備工事費などで2787万6千円を減額。

土木費では復興事業に係る防災集団移転促進事業・土地区画整理事業・津波復興拠点整備事業・市街地復興効果促進事業・防災緑地公園事業など各種事業で15億6917万6千円を減額し、基金積立金で7397万3千円を増額。

災害復旧費は、3億5673万6千円を減額。農地災害復旧費3億3173万6千円、農業用施設災害復旧費2500万円の減額。

また、交流センター建設事業の継続費補正と、10件の繰越明許費の補正、建設事業に伴う4件の起債額の補正を計上した。

繰越明許費とは

何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、議会の議決を経て、特別に、翌年度1年間に限り繰越して使用することができるものをいう。

繰越明許の内容

事業名	金額
小学校エアコン設置事業	110,000
中学校エアコン設置事業	40,000
震災対策・戦略作物生産基盤整備事業(牛川排水路整備工事)	111,700
ふくしま森林再生事業	81,000
漁業集落防災機能強化事業(谷地前安波線道路改良工事)	27,000
社会資本整備総合交付金(道路)事業	175,475
雁小屋地区歩道整備事業	16,900
小沢北道路整備事業	72,796
文化交流センター附帯設備工事	6,000
釣師防災緑地整備工事(その6)	163,800
釣師防災緑地整備工事(その9)	11,448
駒ヶ嶺公民館(本館)建設工事実施設計業務委託	19,732
合計	835,851

(単位：千円)

平成30年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算現額(3月議会補正額)	議決の内容
一般会計(第8号)	132億6461万4千円(21億5400万円を減額補正)	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計(第5号)	10億7445万円(40万円を減額補正)	全員賛成により可決
介護保険特別会計(第3号)	8億7575万1千円(8941万3千円を減額補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第3号)	1億7423万円(260万円を追加補正)	全員賛成により可決
新地南工業団地整備事業特別会計(第2号)	5839万円(324万5千円を追加補正)	全員賛成により可決

ただここを質す!

町政を問う

一般質問

今期定例会の一般質問は、3月18日・19日の2日間行いました。議員5名からは11件の通告があり、消防団の処遇等の改善などについて質しました。各議員からの質問内容は、左記のとおりです。

以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

5名の議員が質問

(通告順)

吉田博議員 P10

- 1 消防団の処遇等の改善について
- 2 町立の保育所、小・中学校の建設等について

寺島浩文議員 P11

- 1 空き家・空き地対策について
- 2 各公共施設の運営と維持管理について
- 3 公営住宅について

八巻秀行議員 P12

- 1 人と自然が共に輝き笑顔あふれる町づくりの人口フレームの達成について
- 2 若者の教育充実を

齋藤充明議員 P13

- 1 まちづくりの課題と行政機構改革について
- 2 公共インフラ整備の課題と対策について

井上和文議員 P14

- 1 新地高校の存続のために
- 2 虐待のない社会づくりについて

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できる。質問者は、事前に質問内容を通告する。

なお、当議会では平成28年12月議会から試行的に、一問一答方式を導入している。これまでは質問時間を40分としていたが、今定例会は質問と答弁を含めて60分とし、時間内であれば何度でも再質問ができる。



吉田 博 議員

消防団の処遇改善をすべきではないか

町長 活動の実態に応じ適切な対応に努めたい

議員 消防団員の定数削減が行われたが、削減された分の補強策が必要と思う。どのような対策を講じたのか。
町長 定数削減の要因は、少子高齢化、団員の町外転出、若者の地域への意識の希薄化等で、団員補充が困難になった。
削減の補強策として、団員の教育訓練等の強化と、消防車両など装備の充実を図った。
議員 近隣市町村では団員に出動手当を支給しているが当町では出していない。同程度の出動手当を支給するよう見直すべきではないか。
町長 円滑な消防団活動を推進していくために年報酬と、出動手当を1日2400円支給しており、近隣市町村と比較して、低い手当ではないと思ってい



▲他の市町村でも消防団員募集

議員 町長の話している出動手当は、日などの費用弁償の事であり、消防団員は災害現場等で身の危険にさらされていることがある。その担保としての出動手当を支給しているのか。
総務課長 災害時の出動手当は支給していない。今後近隣市町村の動向を調査する。
議員 災害発生時に、防災無線で場所等を知らせているとの指摘がある。改

善できないか。
町長 火災発生時の放送は、119番を受信している南相馬市にある広域消防本部で行っている。
消防団の出動態勢を基に、要望を行っていく。
議員 婦人消防隊が少なくなっているが大規模災害に備え後方支援のため女性消防団員を増員すべきではないか。
町長 女性の持つソフトな面を生かして、高齢者宅への防火訪問、災害支援に必要な女性消防団員加入促進に取り組む。
町長 長寿命化を図る



▲老朽化が進む福田保育所

ている。新築には相当な費用がかかるので、今後も適切な修繕を行い、長寿命化を図りたい。
議員 少子化現象の表れと
思うが、新地高校の統廃合が発表された。
町内小学校の在り方について審議会等の設立を検討すべきではないか。
町長 町内で児童数が最も少ない福田地区については、当地区への移住定住促進を進めており、小学校に複式学級が出来た時点で検討したい。



寺島浩文 議員

新たな公共施設の運営管理は

町長 指定管理者での運営管理を検討

議員 平成31年度は復興事業により、様々な公共施設が完成する。それらの施設の運営と管理をどの様に行っていくのか。
町長 釣師防災緑地は当面は業務委託等による直接管理とし、来場者や管理の状況などを分析し、将来の指定管理者制度での管理運営につなげていきたい。海水浴場については、整備は町で行い、管理運営は観光協会で行うことで考えている。海釣り公園については、本定例会に観光協会を指定管理者として上程しているところである。文化交流センターは、当分の間直接管理を行い、利用状況やイベントの開催状況を把握しながら、指定管理者による管理運営を検討している。
議員 海釣り公園の指定管理者として、観光協会が提案されているが、自主事業として釣り具・釣り餌・軽食などの販売、釣り具レンタルなども計画されている。また各種イベントなども開



▲防災緑地管理棟

催して行くと言う事であるが、そういった運営を行う為には、ある程度専門的な知識を持ったスタッフが必要になる。観光協会にはそういった人材はいるのか。
企画振興課長 震災以前は釣りに精通したスタッフを確保していたので、今回も広報紙でそういった管理人を募集している。計画では5〜6人でローテーションを組みながら運営をして行く予定である。

空き家・空き地バンクへの登録は

都市計画課長

定期的に広報を行う

議員 昨年10月に空き家・空き地バンクが創設されたが、現状は空き地が2件登録されているだけである。もともと町民に空き家・空き地バンクのメリットとその存在を知っていたただかなくては、登録件数は増えて行かない。HPや広報紙等でもっと町民に周知を図るべきである。
都市計画課長 登録を促進するため、定期的にHPや広報紙で定期的に広報を行っていく。
町長 平成31年度実施

公営住宅の払い下げは

町長

議員 相馬市では災害公営住宅の払い下げが始まっている。新地町でも129戸の災害公営住宅を抱えており、今後の管理戸数を減らすためにも、払い下げが必要になる。いつから、どのような条件で払い下げを行うのか。
都市計画課長 最初に完成した駒ヶ嶺原地区の災害公営住宅が5年を経過したので、平成31年度中に実施できるよう準備を進めている。それ以外の団地も、5年を経過した団地から払い下げが出来るよう、事務手続きを進めていきたい。
議員 被災高齢者共同住宅は、現在22戸中6戸が空いており今後も増えて行く事が予想される。入居条件に被災高齢者と言う縛りはあるが、新たにその条件に該当する方はいない。町内にも70歳以上の1人暮らし高齢者が125人もいると伺っている。入居条件を見直し、そう言った方々に目の届きやすい被災高齢者共同住宅に入居してもらおう事も検討するべきではないか。
健康福祉課長 一人暮らし高齢者の方の入居も含め、入居条件を31年度中に庁内で検討を進め、方向性を出していきたい。



八巻秀行 議員

新地高校の存続要望を

町長 町民一丸で要望

議員 新地高校は、2022年度に相馬東校と統合・再編されるが、復興の真つただ中のこの時期に被災自治体をどう判断をなされたのか。県教委の対応を疑問視せざるを得ない。県教委の対応に黙ってそうかと納得するわけにはいかない。2月25日議会全員協議会で説明を聞いたが議会では再考を求めるとした。町長、教育長はいつ知ったのか。今後どんな対応が必要と考えているのか。



▲新地高校46名の入学式

議員 内唯一の高校の存続を要望していく。
議員 昨年12月20日に聞いたと言うが、再考を求めるとか存続を求めるとかしなかったのか。
教育長 この時は相当厳しく聞く耳をもたなかった。怒り浸透だった。今後、町と議会の連名で要望書を出せるように、準備を進めている。

人口フレーム8700人の達成は

町長 適正な管理運営で

議員 第5次総合計画後期計画の目標年次(H32年)に8700人、世帯数3100戸としているが平成31年2月1日、現住人口は8202人、前月比2人減、世帯数2844戸、前月比5戸減と計画を大きく下回っている。目標年次の達成が難しい状況と思うが、この状況をどの様に捉え、今後達成のために対策をどう考えているか伺う。

整備事業等を着実に進め目標に近づける。
議員 新地駅周辺ではエネルギーセンター、複合商業施設、フットサル場、ホテル・温浴施設が完成の域に達しており、どれをとっても順調な管理運営がなければエネルギーセンターの存続も人口増加や賑わいづくりにない。
一つ一つの適正な管理運営が大切であり、それぞれの賑わいづくりの活動が大事である。



齋藤充明 議員

河川整備に“河床整正”を

建設課長 土砂撤去と併せて導入

議員 県では二級河川に堆積した土砂払い等の「土砂堆砂除却工事」を実施している。その場合、町で土砂捨て場を確保することになっていくが、町の対応は。
町長 河川に堆積した土砂は、県と町が河川巡視を行い、地区からの要望があった箇所や緊急性の高い箇所から、河道流下断面を確保するため、土砂撤去を実施している。



▲河川愛護の作業負担軽減を

議員 河川や建設工事で発生した土砂は、自らの工事内や他の建設工事で有効に利用することで進めていることから、現在、町では土砂捨て場を確保していない。今後、建設発生土の有効利用の促進に向けて、土量調整に取り組んでいく。
議員 地区の河川愛護も参加者の高齢化や草刈機がない家庭も増えていることから、年々大変になってきて

いる。町内の二級河川については、必ずしも土砂堆砂除却工事だけではなく、むしろ、河川に堆積した土砂を重機で均して川底を平らにする、いわゆる「河床整正」が有効ではないか。
その方法であれば、土砂捨て場も必要がなく、経費も安く済むので、河川改修が、より多くの箇所で行えるのではないか。
建設課長 河川の流下能力

が低下している箇所や水門の施設に影響を及ぼしている箇所は土砂撤去を行い、それ以外の箇所は、河床の整正を行うことで整備できるように進めていく。
町としても河川愛護などの作業の負担軽減と安全に作業ができる様々な取り組みを進めていきたいと考えているので、そういう形で整備できるように進めていく。

農業用水の確保は

町長 関係機関と調整する

議員 鴻ノ巣ダムは、平成31年度以降昇事業として改修工事が行われるとのことだが、元々耕作面積に対してダムの貯水量が少ないため、毎年、水の確保に悩まされている。工事期間中の用水の確保をどうするのか。
町長 鴻ノ巣ダムは、完成後40年経過しており、取水・排水施設や操作室機器等の修繕が必要なことから、農業用水路長寿命化・防災減

まちづくりの課題と対策は

町長 持続可能なまちづくりを目指す

議員 新年度予算は復興と共に町民生活に密着した事業にも光を当てた予算となっているが、少子高齢社会の中で、課題と対策は何か。
町長 今後の課題は、新地駅周辺市街地復興整備や防災緑地などの施設の活用や増加した公共施設の維持管理等がある。
高齢者対策や次世代のためのまちづくりなど、復興の総仕上げと生活に密着した課題に優先的に取り組み、持続可能なまちづくりを進めたい。



井上和文 議員

虐待のないまちづくりを

町長 32年度中のセンター設置を目指す

議員 ノートで親に許しを請うていた東京都目黒区の事件、学校のアンケートに助けを求めていた千葉県野田市の事件、連日のように報道される児童虐待死事件は本当に心が痛む。児童相談所や教育委員会の対応も重要だが、児童相談所を支える社会、地域との連携、市町村の役割も求められる。行政の縦割りを乗り越え、個々の問題に的確に対応できる「子育て世代包括支援センター」のような取り組みが重要だ。虐待は①身体的虐待②性的虐待③ネグレクト(放置する看護しない)④心理的虐待の4つに、高齢者の場合は、経済的虐待(搾取)が入る。いじめ、差別、偏見等も広義の上では虐待と同じ延長線上にあると思う。どうすれば、虐待がなくなるのか。「学ぶ」ことだと思ふ。人は間違いを犯す。そこから学ぶことだ。弱い者に対するいじめ、違うものに対する偏見差別、介護も含めた虐待

のない社会・地域づくりを進める為に町としての取り組みが重要だ。
町長 事件を受け国は体罰禁止等を盛り込んだ児童虐待防止法の改正を進めており県でも条例制定の動きがある。体制を強化して子どもを虐待から早期に発見して救うことは重要だ。また、保育所、学校、乳幼児健診、母子保健指導などと連携して、子どもを親だけでなく地域全体で見守る地域づくりに取り組み、センター設置についても32年度中の設置に向け進める。
また、高齢者の虐待が社会問題になっており「孤立」「老々介護」「介護者の介護疲れ」等の課題を福祉関係機関と連携しながら地域みんなで見守る体制作りを進めていく。

町長 強く存続を要望する
議員 県教育委員会は、県立高校の統廃合に関わる前期計画を発表し、2023年までの計画で、1学年3クラス以下の高校を再編し25校を13校に統廃合するとしている。また、今回の計画では、「進学指導拠点校」「進学指導重点校」「キャリア指導推進校」「職業教育推進校」「地域協働推進校」のいずれかを選択している。中学卒業の時点で明確に進路を決められるか疑問であり高校の差別化、選別化が一層進むことになる。
新地高校は、「東北バイオプロジェクト」「おもひの木プロジェクト」「新地町環境未来都市研究発表」等地域に根差した多彩な活動を行なっている。J.R、しんちゃんGO等地域経済への影響、復興町づくりへの

の影響など「新地高校の存続なしに新地町の復興はない」との決意で存続の取り組みを進めるべきだ。
町長 新地高校は明治39年に新地村実業学校として発足、今年で112年を迎え地域に貢献できる人づくりをテーマに教育活動を行っている。震災後は、新地駅での駅カフェ、キャンドルイルミネーション、駅前国道6号線での清掃ボランティア活動、やるしかねえべ祭り、あんこ地蔵盆踊り、町文化祭や復興産業まつり等、「地域に貢献できる人づくり」を様々な活動を通して実践しており、深く地域と結びついておりまちの活力にもなっている。地域経済や地域交通の貢献もあり、町内企業の就職率は過去5年間で27%と高く雇用確保の面でも大きな貢献がある。同窓会、地域、地域企業と連携し新地高存続に向け強く要望していく。

総務文教常任委員会 適正な維持管理を

2月7日、公共施設の維持管理について調査した。

公共施設は、公営住宅や教育施設など約100施設を有しているが、そのうち震災後に整備されたものは18施設あり、その維持管理が課題である。

払い下げをすべきである。また、新規の釣師防災緑地や文化交流センター等の施設管理のため、組織全体の見直しを含めた機構改革を速やかに実施すると共に、施設の適正な維持管理と利用度を高め、賑わいの創出を図る観点から直営ではなく指定管理者制度の導入を図ることが大事である。

委員会 レポート



▲公共施設の維持管理を調査



▲県道相馬・巨理線を調査

産業厚生常任委員会 住民の負担軽減策を

1月31日、安心安全な道路整備について調査した。

県道・町道及び河川における維持管理は、のり面の草刈り作業などを地域で行っている。近年、地域住民の高齢化により、作業効率の低下や危険性が心配されている。

県から草刈り機器の借受けをするなど、河川・道路愛護運動の全体をみながら継続して取り組んでいけるよう、住民の負担軽減策を急がれたい。



▲一般廃棄物最終処分場を調査

2月6日、廃棄物行政の現状と課題について調査した。

町の一般廃棄物最終処分場で保管している薪風呂の灰は、富岡の埋立処分場に2月中旬より運び出しを始め、年度内完了予定である。町の燃えるごみはクリーンセンター(ごみ焼却場)で焼却処分している。発生した焼却灰は、相馬市の処分場で埋立処分されているが、現在相馬市と処分場の費用負担について協議中である。

また、クリーンセンターに保管されている飛灰(集塵機で集めた灰)はきちんと域外へ運び出しをしてもらい、その費用はすべて原因者である東京電力に請求されたい。

また分別が定着し、一般廃棄物最終処分場の延命化も図られているが、焼却残渣処分の問題は十分研究・検討し、将来に向け確実に取り組まれない。

ようこそ新地町へ

表彰

全国町村議会議長会から、菊地正文議長、鈴木利議員が、町村議会議員として在職27年以上の在職表彰を受賞されました。



▲鈴木利議員(左)と菊地正文議長(右)



プロフィール

阿部未央さん (小川地区)

長野県から新地町に移り住んで今年で4年目。
夫と子供4人の6人暮らし。出身は岩手県西和賀町。

女性と若者が元気の町に

小川地区にお住いの阿部未央さんに、新地町の良いところ、望むことなどお話を伺いました。

新地町に住住したきっかけ

主人の転勤の関係で平成27年に長野から主人の実家である新地町に引っ越ししてきました。しばらくの間実家にお世話になり、アパートを探したのですが、その頃は、避難されている方や工事関係者なども多く、新地も相馬もなかなか空き家がなく、探しました。同じ時期に、次女が尚英

中学校に入学しバレー部に入りました。私も主人も学生時代はバレー部でしたので、娘の部活を通じて親同士交流やPTAなどで交流する機会も多く、すぐにこの町になじむことができました。

休日に家族みんなで体育館に行きスポーツを楽しんでいるときなどは、幸せを感じます。

町の印象は

私は岩手県出身で、長野でも暮らしてきましたが、新地町は、海も山もあり、気候も温暖で住みやすいです。雰囲気明るくフレンドリーで、人も自然も豊かで、特に女性が元気の町だと感じます。

町に望むこと

新地駅前には住宅も施設も立ち並んできました。駅前と連携して町の観光も発展することを願っています。元気な女性たちに若い力が加わって、町の魅力や町の特産品開発などを引き出して欲しいと思います。私の子供の中にも、この町で仕事に就き、地元に戻り添って暮らしたいと思っている子があるので、様々な職種の企業があればいいなと思います。女性も若者も活躍する新地町を目指して欲しいですね。



編集後記

新しい元号が「令和」と発表されました。出典は「万葉集」から日本の古典からの元号は初めてのこと。安倍首相は、一人一人の日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることのできる、そうした日本でありたいと「令和」について談話をしました。

一方で、外務省は新元号について外国政府に英語で説明する際「ビューティフルハーモニー」＝「美しい調和」と訳して伝えたとしています。「令」がビューティフルとは私の和英辞書には無かった。何はともあれ議会広報紙は誰もが理解でき、読んでもらえるよう心がけた。

(吉田 博)

編集委員

- 委員長 寺島 浩文
- 副委員長 齋藤 充明
- 委員 八巻 秀行
- 委員 三宅 信幸
- 委員 吉田 博